

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第48号

古牧だより通算142号

平成24年度

古牧地区 学校と地域で人権を考える集い 開催

24年度古牧地区学校と地域で人権を考える集いが、11月13日(火)古牧小学校体育館で午後1時から開催されました。

本集会は平成6年に学社連携住民集会として始まり、今年で19回目を数えます。

一人ひとりの「違い」が尊重される社会へ～優しさに気づく人権感覚をそだてよう～をテーマに、前半は古牧小学校全学級で人権同和教育の授業参観が行われ、地域住民参加者がPTAの皆さんとともに参観しました。

1、2年生は「ともだちとのふれあい」を、3、4年生は「物事を伝えあう難しさ」と友達



の良さや協力の大切さ」を、5年生は「いじめをなくすには」を、6年生は「差別

をしていた人々の行動の不当性に気づく」を、それぞれ課題に話し合いや発表など元気な姿を見せてくれました。



後半の全体会開会で、湯沢会長が「地域がよくなるには子どもがよくならなければ、子どもがよくなるには、家庭と地域が積極的に協力の輪を広げなければ」との集会趣旨を話されました。

開催校あいさつで岡谷校長は、「全学級で人権同和教育の授業を見ていただきました。

6年生が講演を一緒に参加させていただいています」と話されました。

来賓の市人権同和政策課堀内課長は「現在、市人権政策推進基本方針素案が作成され、素案に対する市民の皆様のご意見・ご提案をお寄せいただく日程になっています」とあいさつされ、次に4名の市議会議員を代表して小林秀子議員は、人権の難しさにふれ「車椅子バスケットの佐藤選手の講演を楽しみにしています」とあいさつがありました。

講演内容

「スポーツから得たもの ～バリアフリー社会を目指して」

佐藤 光秀 先生

(車イスバスケ選手・チェアスキーコーチ)

①はじめに：今車イスに乗っていますが、どこがけがをしているか分かりますか。

脊髄・背骨が折れるけがをしました。直すことのないけがでした。けがをする前は車イスのこと全然知らなかった。

②出会い：高校時代に陸上部でやり投げや円盤投げをやっていた。全国大会(インターハイ)に行けたので、長野五輪ボブスレー競技の候補選手に選ばれ、大学に進学した。国内や海外で遠征していた。

③暗転：大学3年の時、阪神淡路大震災が起



きたあとの2月14日遠征先のオーストリアで転倒し背骨を折るけがをした。手術をしたがどんなけがなのか、どんな手術をしたのか分かっていなかった。日本に帰って「二度と立つことができない」と言われ受け入れがたかったが状況は分かった。

④**車椅子生活**：車イスで生活できるように訓練して、大学に復学した。その後職場を得て一人暮らしをして生きていく自信がついた。友達や家族の支えがあったからだが、そのうちスポーツをやる気はなかったが、車イスバスケットをやるようになって仲間が増え、先輩から車イス生活でのコツなどいろいろ教わることができた。

⑤**バリアフリーとは**：障害にはいろいろなレベルがある。ぼくは声をかけてもらってもかまわない。障害者が困っている様子がみえたら声をかけてもらっていいと思う。「バリアフリー」と言うのは、いろいろな障害に対してその障害を除くことをいうのだ。車イスでは段差を取り除くことが一例だ。

こころの問題もあるが障害があってもなくても同じように活動することだ。

⑥**車イスバスケットの実技と小学生の体験**：競技の説明＝ボールを拾うことが基本。長野県に2チームある。全国で100チームがあり、女子のチームや大学選手権もある。

ルールは、車イスに乗ってやる以外ほとんど同じ。特別ルールは、ダブルドリブルはないのと、障害レベルの違う5人でチームを組むこと。

転んだとき自分で起きられる人と起きられない人がいる。転んでもゲームが続くので、手助けで起きるまでは人数で不利になる。

⑦**おわりに**：私も自分に障害があるようになるまでは障害について何も知らなかった。

私のような障害のある人がいることを「まず」知って欲しい。小学生は今日私に会ったことを日記に書いておいてください。



子どもたちの感想文

友だちのこと知りたいな（2年）

◎自分についての発表を聞いて

- ・じ分もすごいと思いました。もっと目標をふやしてがんばりたいと思いました。
- ・Mさんは、ぼくのところをよく見てくれたからうれしかったです。
- ・休み時間にわたしがうんていを練習しているところをS君が見ていてくれて「うんていチャンピオン」って言ってくれたから、S君ありがとうございました。
- ・Hさんの文章はていねいに書けていて、思いつかない文章を書いてくれたので、とてもうれしかったです。

◎友だちの発表を聞いて

- ・知らなかったことやびっくりしたことがあって楽しかったです。
- ・Yさんがかけ算が得意なんて知りませんでした。たくさん練習したから得意なんだと思いました。
- ・友だちの一人ひとりががんばっていることや得意なことが分かってよかったです。
- ・みんながチャンピオンになったからすごいと思いました。

友だちの大切さを知った参観日

4年 松本 瞳子

私は、この仲よし旬間中の参観日で、良かったことや、うれしかったことが三つあります。

一つ目は、いつもより、友だちといっぱい話せたことです。先生ばかり住んでいるマン

ションというゲームをしました。ルールをせつめいしてもらっている時に、「この前やったゲームとにているなあ」「この前は、なんでもできなかったんだよなあ」と思い、友だちの足手まといにならないか心配でした。

でも、みんなでたくさん話して、相談して、全てできたのでよかったです。

二つ目は、友だちがやさしく、ちゃんとみんなにもわかるようにせつめいしてくれたことです。最初の方は、私は「こまったなあ」「意味がわからないなあ」と思っていました。なので「言うのがこわいなあ」と思いやめておきました。でも「言ってみようかなあ」と思い、言ってみました。すると友だちは「このヒントにこう書いてあるから」とせつめいしてくれました。それで私も「こういうことじゃないかな」と、たくさん意見を言うことができました。

三つ目は、みんなと協力できたことです。私は、いつもみんなの中に一人では入れません。でも今回はちがいました。私のヒントもなければ、このゲームはクリアできないのです。「これはここだよ」「こうじゃないの」などと言いながら、協力することができました。そして、はやくできました。

仲よし旬間であらためて、友だちの大切さを知りました。

佐藤さんのお話を聞いて学んだこと

6年 内川 あづみ

私が、車イスバスケット選手の佐藤さんのお話を聞いて学んだことがあります。それは、私も佐藤さんの話を聞いて車イスに乗っている人は、生まれつきのしょうがいのある方だと思いました。けれど、けがや病気をして車イスに乗っている人もいるんだなあと思いました。佐藤さんの場合は、ボブスレーに乗っている途中でけがをして、せきずいを骨折して車イス生活になったと言っていました。でも佐藤さんはあきらめないで、車イスバスケットの選手になったり、チェアスキーをしたり、す

ごいと思いました。車イスバスケットは、動画や実技をみせてもらうと、転んだりぶつかってしまったりする人がいました。それでも、みんなあきらめずにやっているの、すごいなあと思いました。

私はあきらめない心を学びました。

抜本的な水害対策を論議

古牧地区元気なまちづくり市民会議

160名参加で開催

平成24年度
古牧地区元気なまちづくり
市民会議が、
11月25日(日)
午後2時から
古牧公民館集
会室で行われ
ました。



長野市からは、鷲沢市長さんと関係部局長さん9名が出席され、総勢160名を超える皆さんが集まりました。

本年度は、昨年度の講演会方式ではなく、議案提案回答方式で行われ、市長施政方針説明のあと提案議題・自由討議に入りました。

提案議題は2件あり、一つ目は7月の豪雨災害関連の抜本的な水害対策についてで、可能な限り対策工事を行っていくなど回答がありました。二つ目は避難勧告のあり方等についてで、避難方法の確認など災害等に備えていただきたいなど回答がありました。

自由討議では、地域公民館の補助制度、三



重公園の清掃作業について発言があり、現状で理解いただきたい、あるいは実施困難であるなど回答がありました。

第29回 古牧地区ふるさと文化芸能祭 開催

穏やかな秋空の下 爽やかな音色♪ 笑いあり涙ありの寸劇

11月3日文化の日に、第29回古牧地区ふるさと文化芸能祭が古牧公民館、古牧小学校体育館を会場に開催されました。

当日は穏やかな秋空の下、終日多くの皆様のご来場により、にぎわいを見せました。

古牧小学校体育館で開会式が行われ、芸能部門第1部が華麗なる獅子舞による御神楽で幕が開きました。



今年も小・中学校・各種団体の合唱・演奏による発表が行われ、爽やかなそして力強い演奏や、心に響く透き通った歌声に感動させられました。

また、太極拳のカンフー体操では、男女息の合った柔軟な動きと力強さで魅了しました。

第1部最後は、「おばあちゃんの宝物」と題して寸劇が行われ、認知症のおばあちゃんを取り囲むあたたかい家庭の物語で、笑いあり、



涙あり、そして時にはビックリさせられる場面もあって観客席の皆さんも大変感激されていました。

引き続き第2部地域公民館の部が開催され、華麗な舞踊・ダンス、静かに聞き入った楽器の音色、美しい歌声や、力強い書道吟、凛とした剣舞の発表等で楽しませて頂きました。

最後に美しく華やかな舞踊、「長崎の雨」で芸能部門が締められました。



展示部門は古牧公民館で行われ、1階学習室に成人学校の部で水墨画・手編み・パッチワークなど、2階では、書・木彫り・粘土細工・陶芸・絵画・ちぎり絵・写真・押し花・生花など出品者の渾身の力作がたくさん勢ぞろいしました。

訪れた人達は、感心した表情で熱心に鑑賞しており、「この作品欲しいな」という声も聞かれました。

閉会式では、お楽しみの大抽選会も盛大に行われ、ふるさと文化芸能祭の幕を閉じました。



第3回企画調整委員会（11月14日）から

今後の円滑な事業運営を図るための課題について、次のとおり審議がされました。

- 1 総務部会長（副会長）の退任に伴う後任者の選任について、役員を選任手続きを省略し残任期間、総務部会長の代行者として総務部長の小林克巳さんを決定しました。
- 2 平成24年度上半期現在、78事業のうち42事業が終了し、進捗率53.8%です。予算執行状況は、総予算3,240万円のうち1,730万円が執行済みで、進捗率53.3%と、順調に進捗している報告があり承認されました。
- 3 古牧地区元気なまちづくり市民会議については、掲載記事をご覧ください。
- 4 区長全員の役員就任の是非について、住自協発足時の経緯を踏まえ、現状を維持することで決定しました。
- 5 部会（部会長）は、各部間の連携を図り円滑な事業運営ができるよう、調整役に努める必要があるため、現状のまま存続するという意見で集約されました。
また、部会長の副会長兼務は、住自協の発足時に会長を補佐する目的で配置されましたが、責任業務範囲等が不明確なため成果が見られませんでした。今後、副会長兼務を廃止し、専任の副会長を配置して責任業務範囲を明確化するという意見で集約されました。
- 6 現状の事務局体制を、役員は事務局長・事務局会計部長・庶務部長を廃止し、事務長を事務局長に名称変更すると同時に役員から除き、事務員で構成することで決定しました。また、事務局長配置制度の趣旨から、事務局を管理監督する副会長を定めるかどうかという意見も集約されました。
- 7 青少年育成部の事業は、学習・スポーツ・イベント等を通じて、健全な青少年の育成を目的としているが、少年育成委員は非行防止を目的としていること等により、青少

年育成部事業に馴染まない部分があるので、青少年育成部員の団体代表部員制度を廃止することに決定しました。

- 8 役員活動事務費について、監事から他の住自協並みに増額提言があり、今後の予算計画作成時等に見直しを行うことになりました。
- 9 総務部会自主防災連絡会はマニュアルに基づき、12月8日（土）午前8時から、古牧地区災害対策本部の設置並びに情報伝達の訓練を実施することになりました。
- 10 長野中央消防署東部分署開設に伴い、分署長の丸山章さんを参与に委嘱することに決定しました。

上越市マミーズ・ネットの挑戦 地方発 みんなでつくる子育て支援

子育て支援部では11月26日（月）住民自治協議会湯澤会長他総勢22名で表記の上越市へ研修に行き参りました。その日は一日雨でした。

上越市には、健康福祉部こども課があり、こどもセンターの運営は「NPO法人マミーズ・ネット」に委託しています。

～楽しく子育てができるよう応援します～の見出しで、上越市民プラザ2階にこどもセンターがありました。大勢の親子連れがあふれていました。

マミーズ・ネットの中條美奈子さんの、地方にあってこれだけのことができる！と体験に基づいた市民と自治体でつくる、活力ある「子育て支援」のすごいパワーの秘訣をしっかりと聞きし、感動と闘志をいただいて来ました。



冥界で裁く十人の王（十王堂）

東和田区長 小幡 誠宣

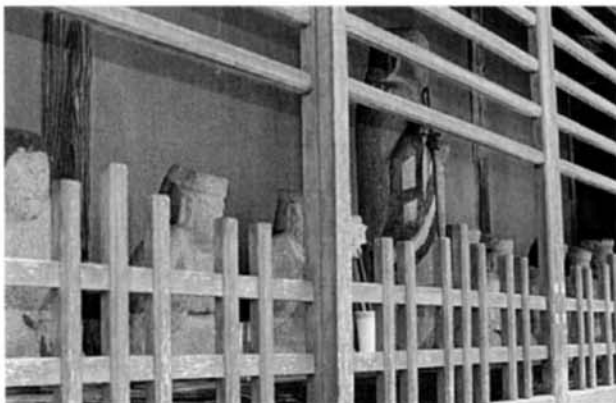
東和田区は、古牧地区の北東部に位置し、1,100世帯、約2,700人が生活し、国道18号線、406号線沿いを中心に多くの事業所が活動しています。

平成21年の新年早々に、鎮守の森として親しまれていた和世田神社が焼失してしまいましたが、区民はじめ多くの方々の努力により2年前に再建されて、春・秋のお祭りや区・公民館の行事（盆踊り、文化祭等）の会場として、多くの区民が集まり、賑わう場所になりました。

焼失前の社殿は、弘化4年の善光寺地震で倒壊し、翌嘉永元年に奥殿が再建されました。奥殿石垣にその記録を刻んだ石がありましたので、竣工記念碑の横に大切に保存をしておりますが、拝殿は、15年後の文久2年（1862年）に再建されたものでした。

また、本地区の中心部に「十王堂」が存置されています。

平安時代に生前に犯した罪によって冥界（めいかい）で十人の王に裁かれるという十王信仰がはじまり、鎌倉・室町時代を経て、江戸中期以降一般庶民に広まったとされていますが、当区の十王堂建立の年代については不明とされています。



この十王堂、昭和の初め頃に、左端に安置されていた平等王（観世音菩薩）が盗難に遭い、男女双体の道祖神がその代替として安置されたといわれ、現在安置されている十体の真ん中には、閻魔大王（地蔵菩薩）の立像が見守っております。

毎年8月23日夕方には、十王堂の世話人会を中心に「地蔵盆祭り」が行われるようになり、多数の参拝者がみえて観音庵さんの読経によりお焼香をし、無病息災とともに子どもたちの健やかな成長をお祈りしています。



しゃばえんびつ

十二月十六日投票日です。十二の多党乱立の混戦模様の中で政党的名前も覚えられない有様です。
原発・消費税・TPP・子育て支援等々目先の対策より将来を見据えたものに――。
一年のしめくくりの月、投票は棄権する!! ことなく、すべて今年のことは今年のうちまっとうして、皆さんよい年を迎えましょう。泣いても笑っても辰から巳へとバトンタッチです。
(北村 和広)

師走

いよいよ師走。
皆さんにとってこの一年はどんな年でしたか。
何はともあれ家族が健康で、十一月には五人目の孫が生まれてにぎやかになった我が家です。
五人揃ってすべて女の子で、この上なく華やかで賑やかです。さて、さて、この師走に「衆院選」

古牧地区の世帯数と人口

24年11月1日現在

10,642 世帯

26,214 人

(男 12,936人 女 13,278人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷